



法勝寺川の緊急対策シミュレーションを実施しました

平成30年6月18日(月)

日野川河川事務所

平成30年6月15日(金)日野川河川事務所において、洪水による堤防の破堤が生じた場合を想定した緊急対策シミュレーションを行いました。

堤防決壊という現象を実際に起こりうる課題として取り組むため、緊急対策シミュレーションでは、法勝寺川の特徴や破堤の原因を設定して対策を検討しました。

当日のメンバーは、本局河川工事課職員2名、日野川河川事務所職員11名、中国河川技術伝承会員1名、工事施工業者4名、現場技術員2名の合計20名で、浸水や現地へのアクセス道路、事務所や協力業者の保有している資機材等を踏まえ、現実的な復旧工法の立案をしました。

シミュレーションのやり方としては、まず2班に分かれ、午前中に想定破堤現場を視察してから午後検討を行い、それぞれの班が提案・発表して講評を行うという形をとりました。

また検討した成果については、今後災害が起こった場合に備えてデータベース化も図っています。

現場視察



グループ発表(1班)



伝承会講評



グループ検討



グループ発表(2班)



事務所長総評

